

# 〔総合的な改革案〕鳥取環境大学の改革について

鳥取県、鳥取市、鳥取環境大学は、平成24年4月を目標に、鳥取環境大学を公立化するとともに、魅力ある新しい大学に生まれ変わらせるため、学部・学科改編などの本格的な改革に取り組んでいます。



公立化後の新たな鳥取環境大学においては、

環境に恵まれた鳥取のフィールドを舞台に、地域の自然環境や人と人とのつながりを大切にするローカルな視点を持ちながら、



これからの日本や世界が進むべき方向をグローバルに考えられるような、地域を担い、世界に羽ばたく人材の育成を目指します。

— 新生公立鳥取環境大学設立協議会 —

## 公立大学へと生まれ変わります

鳥取県・鳥取市が共同で設置する公立大学として、県民・市民の皆様から信頼される大学を目指します。

私立大学である今よりもさらに、地域発展に役立つ教育や研究に取り組むとともに、社会から求められる人材の育成に努め、鳥取県東部だけではなく、中西部の幅広い県民、自治体、企業などの皆様から支持される大学へと成長していきます。

私立大学



公立大学

また、他の公立大学並の学費とすることで、教育費負担の軽減を図ります。なお、公立大学になる前から在籍している学生の授業料は、変更年度より減額する予定です。

※現在、学科により年間100～130万円の授業料が、約54万円となる予定です。

公立大学とは、地方公共団体の設置する大学で、全国に80校あります。（平成22年度時点）

# 山陰地方初の経営学部を設置します

県内の高校生や企業経営者から強く要望されている経済・経営系の学部を、山陰で初めて設置することで、進路選択の幅が広がります。

新生鳥取環境大学では、人間形成（教養）科目を充実するとともに、環境学部と経営学部が連携することで、環境意識が高く、経営感覚に優れた人材を育てることを目標にします。

◆環境学部 環境学科（理系）

◆経営学部 経営学科（文系）

そのため、環境保全に携わる人や企業経営者、また様々な分野の著名人を招いた特別講義など、魅力的で実際に役立つカリキュラムを用意する予定です。

学部・学科や教育内容の改革も、公立化に合わせ平成24年4月を予定していますが、その前に入学した学生は、入学時の学部学科の教育課程が卒業まで保証されます。



## 人間形成（教養）科目の特徴

- ・ 地域特有の文化、歴史、産業について深く学びます。
- ・ 実際に使える英語や、北東アジア諸国の語学を学びます。
- ・ 社会人として必要な知識やマナーを徹底的に身につけます。

<主な科目（予定）>

環境学概論、特別講義、鳥取学Ⅰ・Ⅱ、まんが文化論、国際交流論、ビジネス英語、中国語、韓国語、ロシア語 など

## 環境学部の特徴

日本初の環境系大学として積み上げてきた蓄積を活かした新カリキュラムにより、今後ますます多様化する環境課題に柔軟かつ的確に対応できる力を身に付けます。

- ・ 鳥取の豊かな自然環境を活かしたフィールド演習を行います。
- ・ 全国的にも例の少ない廃棄物に特化した科目を開設します。
- ・ これまでも先進的に取り組んできたバイオマス（生物資源）の研究を展開します。
- ・ 中学・高校の理科教諭の教職課程を新設します。

<主な科目（予定）>

自然環境保全概論、環境マネジメント概論、循環型社会形成概論、環境学フィールド演習、動物行動学、廃棄物マネジメント学 など

## 経営学部の特徴

山陰初の経済・経営系の学部として、地域に活力をつけ、豊かにするとともに、グローバルな視点も併せ持ち、積極的に海外と交流できる人材を育成します。

- ・ 地元企業の即戦力となる、経営マネジメント能力を持った人間を目指します。
- ・ 地域の資源を磨き上げ、地域特有の産業を活性化するための研究をします。
- ・ 北東アジア諸国をはじめとする外国と対等に渡り合うための実務を学びます。

<主な科目（予定）>

経営・ビジネス特論、地域経営論、NPOマネジメント、エコツーリズム論、観光経営概論、地域とアグリビジネス、国際経営論、貿易実務英語 など

## 魅力づくりのための新たな取組みを展開します

様々な魅力的な取組みを展開し、入りたい、入らせたいと思われるような大学を目指します。

### 海外に開かれた大学づくり

- ・ 海外の大学と、学生や教員の相互派遣、研究・学術交流を活発に行います。
- ・ 留学アドバイザーを留学先地域に応じて配置するなど、留学支援を強化します。
- ・ 英語圏にいるような体験のできる多文化交流空間を、大学内に設置します。

### 地域社会、企業で求められる人材づくり

- ・ 商工会議所・商工会などの経済団体等との連携を強化し、就職支援を充実します。
- ・ インターンシップ（職場体験）を充実、拡大して実施します。
- ・ 学内ダブルスクールにより、就職に有利な資格等の取得を支援します。



<目指す資格の例>

公認会計士、税理士、通関士、貿易実務検定、金融・保険関係資格(ファイナンシャルプランナー等)、エコ検定、旅行関係資格、HACCP等の実務講座、公務員、レンジャー（自然保護官）試験対策

### 地元とともに歩む大学づくり

- ・ 市街地の空き店舗、農村の空き家等を、学生の地域活動拠点として確保します。
- ・ 西部にサテライトスペースを設置し、学生への授業や社会人講座を開催します。
- ・ 企業経営講座など、大学の専門性を活かした公開講座を充実します。
- ・ 学生・地域連携支援センター（仮称）を設置し、学生の地域活動を支援します。
- ・ ガイナーレ鳥取と連携した講座で、スポーツビジネスを体験します。
- ・ 地元の調査・研究機関と一元化することで、本格的な地域経営研究を行えます。

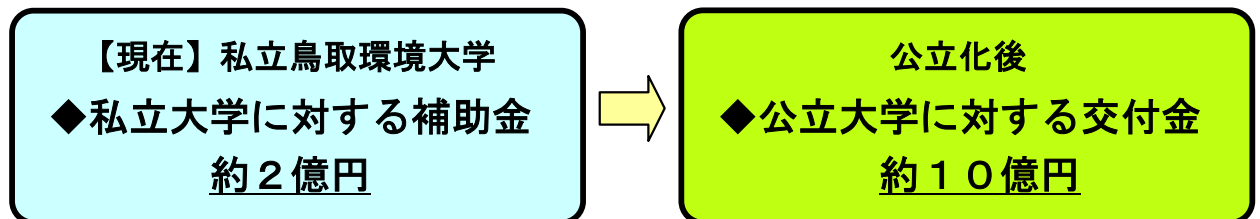
## 効率的で効果的な大学運営を行います

新たに、経営と教育研究に関する審議機関（経営審議会・教育研究審議会）を設置し、経営と教学のバランスのとれた大学運営を実現します。

### 責任ある大学運営

- ・ 公立大学になると、国から新たな財政支援を受けることになります。  
県・市は、その額以上に税金などを用いることはせず、県民・市民の皆様へ新たな負担が生じることのないよう健全な経営に努め、責任ある大学運営に取り組みます。
- ・ 公立化初年度は、新たな設備投資などにより収入以上に支出が増加するため、これまで積み立ててきた資金の一部を取り崩すことになります。  
ただし、他の公立大学のように定員どおりの学生が入学すれば、2年目以降は黒字経営が行えると試算しています。  
※現在も資金の範囲内で運営できており、県や市の税金による支援はありません。

【国からの財政支援の比較（定員を満たした場合）】



### 評価・任期制度の導入

- ・ 教員の意識改革、教育レベルの向上などを図るための教員評価制度の導入や、授業の質を高めるための、学生による教員の「授業評価」の積極的な活用に努めます。
- ・ 多様な人材確保、教育・研究活動の活性化のため、教員の任期制を導入します。

#### 【鳥取環境大学】

〒689-1111 鳥取市若葉台北1-1-1  
TEL 0857-38-6720  
FAX 0857-38-6729  
<http://www.kankyo-u.ac.jp/>



- 鳥取駅からバスで約20分 ● 津ノ井駅から徒歩約20分  
※鳥取駅～大学間はスクールバスが運行しています。

さらに詳しい改革の内容はコチラをご覧ください。

<http://www.kankyo-u.ac.jp/kyougikai/>（鳥取環境大学HP）